

# 岡大アラムナイだより



令和5年2月発行

第33号

## Alumni の動き

### ◆文学部卒業生の遠藤様、教育学部卒業生の江草様が「2022 年度福武教育文化賞」を受賞

岡山大学文学部平成 5 年卒業の遠藤寛子さん、岡山大学教育学部平成 3 年卒業の江草聡美さんら元放送局アナウンサー 6 人で活動している「おはなしの WA♪」が、公益財団法人福武教育文化振興財団の「2022 年度福武教育文化賞」を受賞しました。福武教育文化賞は、岡山県の教育文化の向上に著しい貢献が期待される個人や団体を奨励するために贈られるものです。

「おはなしの WA♪」は、東日本大震災の復興を支援するため 2011 年から活動を始められました。そして 2018 年からは、岡山県も甚大な被害を受けた西日本豪雨災害の復興支援も目的に加え、朗読を通して浄財を募るといった支援活動を続けています。

受賞対象となった絵本『ブラザーズドッグ』は、実際に岡山県倉敷市真備(まび)町で被害を受けたロングコートチワワの兄弟犬の強い絆の話です。西日本豪雨災害の継承や防災意識の向上、前に進む勇気を持つことの大切さを子どもたちに伝えるために制作されました。この絵本制作をきっかけに、小学校等に向いて読み聞かせをするなど、子どもたちに朗読の楽しさを伝える活動もされています。

おはなしの WA♪ の代表を務める遠藤さんは、「声による活動『話、和、輪...』様々な「WA♪」を挙げながら、今後も被災地に寄り添い続けてまいります」と意気込みを語りました。



『ブラザーズドッグ』

[https://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/topics/news1\\_20221128.html](https://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/topics/news1_20221128.html)

## 岡山大学の動き

### ◆岡山大学共育共創コモンズ完成披露式典を開催

本学は 1 月 26 日、岡山大学共育共創コモンズの完成を記念して、完成披露式典を開催しました。式典に先立ちテープカットが行われ、建築の監修をした隈研吾岡山大学特別招聘教授（建築家）、多大なるご寄付をいただいた中島博ナカシマホールディングス株式会社社長、小長啓一岡山大学 Alumni（全学同窓会）会長及び榎野博史学長、阿部匡伸理事、菅誠治工学部長がテープにハサミを入れて完成を祝いました。

式典には、伊原木隆太岡山県知事及び宮長雅人岡山経済同友会代表幹事（中国銀行取締役会長）をはじめ、行政、企業関係者、同窓会及び本学の教職員・学生ら合わせて約 200 人が参加しました。冒頭に伊原木知事、宮長代表幹事からあいさつの後、建設に際してご尽力をいただいた隈先生及び清水建設株式会社に学長から感謝状を贈呈しました。



テープカットと記念撮影

続いて、公募により決定された共育共創コモンズの愛称が阿部理事より発表され、本学職員の田邊光伸さんが発案した「OUX（オクス）」が披露されました。

引き続き、「共育共創コモンズメイキングビデオ」を上映しました。映像は建設に関わった様々な人の想いを伝え、建築工程が記録された内容でした。

式典後半の隈研吾先生の講演では、共育共創コモンズ完成に寄せた言葉の他、建築家を目指す学生に向けて、監修したこの建物の特徴や設計の思いなどを含めた話がありました。

本学では、共育共創コモンズ建設のコンセプトである「地域の産業活性化のための新たな交流と共創の場」として、また岡山の新しいシンボルとして、学生が学ぶとともに地域や企業の皆様との協働を一層充実させながら、岡山から世界に新たな価値を創造していきます。

[https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id11841.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11841.html)

## ◆世界初！英国バース大学創設「気候行動バッジ」を本学グローバル・エンゲージメント・オフィスの教職員が受賞

本学の横井篤文 首席副学長・ユネスコチェアホルダー、グローバル・エンゲージメント・オフィスチーフ・オフィサーの原田美樹 国際部国際企画課専門員、そして同オフィスの津波優 グローバル・アドミニストレーターが1月6日、英国バース大学（University of Bath）が創設した「気候行動バッジ」の最初の受賞者となりました。「気候行動バッジ」は、気候変動の緊急事態に立ち向かう価値ある貢献や先駆的な活動に取り組む教職員や学生ならびに地域、国内、世界で活躍するバース大学の戦略パートナーに贈られるものです。



気候変動バッジを付けた記念撮影

横井首席副学長は「本受賞は私たち個人に対してだけではなく、サステナビリティとウェルビーイングを地域と共に全学で推進してきた本学にとって栄誉なことだと思っています。また、社会的インパクト評価の先進国でもある英国内トップレベルのバース大学から、本学グローバル・エンゲージメント・オフィスの地球社会へ貢献する取り組みに対して評価いただいたことは大変光栄です。今後の励みとして、さらに地球全体のウェルビーイングの共創に尽力していきたい」と述べました。

今年の夏には、年間を通して授与された方々に対して、バース大学は「気候行動バッジ」の公式な授与式と記念イベントを開催する予定です。

[https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id11799.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11799.html)

## ◆岡山大学統合報告フォーラム 2022 次世代と共に拓く「ありたい未来」を開催



榎野学長による講演

本学は、4回目となる統合報告書の発行にあたり、12月17日、「岡山大学統合報告フォーラム 2022」を創立五十周年記念館金光ホールで開催（オンライン同時配信）しました。新型コロナウイルス感染対策を徹底の上、一般の方も含めて会場にて実施し、オンラインでも同時配信を行いました。当日は、合わせて約130人が参加しました。

榎野博史学長による講演では、「トランスフォームの第4期へ」と題し、「学生は最も重要なステークホルダーであり、学生たちが主体的に夢をもち、その実現を目指した活動を支援することが我々の本務である。次世代が夢に描く『ありたい未来』を共に創ることが求められており、そのためには、私たちが自らと社会の価値観を大きくトランスフォームさせ、それを社会システムに反映させる必要がある」と発信しました。

続いて、パネルディスカッションでは、榎野学長をファシリテーターとして、パネリストには工学部の伊藤一葉さん、CLSプログラム2期生であり本学研究生のナタリー・モンテシノさん、文明動態学研究所のライアン・ジョセフ助教、大学院ヘルスシステム統合科学研究科の中澤拓也さんを、ゲストコメンテーターには本学の経営協議会委員であり名古屋外国語大学学長の亀山郁夫先生をそれぞれお招きし、「次世代と共に拓く『ありたい未来』」をテーマにディスカッションを行いました。

閉会あいさつでは、高橋香代理事（企画・評価・総務担当）・IR/IE室長が、「創造のふるさととは未来に、それを目指さなければいけないと教えていただいた。本日いただいた意見をしっかりと受け止めていきたい」と総括を述べました。

[https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id11758.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11758.html)

### 【発行元】

岡山大学 Alumni（全学同窓会）事務局

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号（岡山大学 総務・企画部 総務課 学都基金室内）

Tel: 086-251-7019 Email: ou-alumni@adm.okayama-u.ac.jp (◎は@に置き換えてください。)

Alumni ホームページ: <https://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/>

